

平成24年度 全日本漢詩大会

全日本漢詩連盟設立十周年記念

〈漢詩Tシャツ〉

販売のお知らせ



〈漢詩Tシャツを着た、石川会長・晏子様ご夫妻〉

◎孟浩然の「春暁」を石川忠久会長が墨書したものをプリントしました!!

(詳しくは裏面を見て下さい)

◎各サイズとも

1着2,000円!!



〈若い方にも!!〉

- サイズはS、M、L、LLの4種類
- 1着 2,000円 (送料込)
- お申込一次締切2月25日
3月23日の大会会場にて手渡し、もしくは大会後に郵送(4月半ば)
- お申込二次締切5月末日
7月半ばに郵送
- お申込みされた方には、代金振込用紙をお送りします。

FAX : 03-3251-4853
E-mail: office@zen-kanshiren.com

〈漢詩Tシャツ〉申込書

(お申込の方には追って代金振込用紙をお送りします)

以下にご記入の上、郵送もしくはFAXまたはE-mailにてお申し込みください。(電話での申込は出来ませんのでご了承ください)

お申込者氏名	Sサイズ	着
	Mサイズ	着
ご住所(郵送先) 〒 -	Lサイズ	着
	LLサイズ	着
	計	着
電話番号	<input type="checkbox"/> 3月23日 漢詩大会にて受取希望	
	<input type="checkbox"/> 郵送希望(漢詩大会後の発送となります)	

※受渡し方法は必ずチェックしてお知らせください。

お洒落れ！漢詩Tシャツをどろどろ

石川忠久会長書・孟浩然「春曉」の詩が胸に



漢詩 Tシャツの胸には「春曉」詩

漢詩Tシャツを思いついたのは一年前だ。それまで漢詩百人一首を作りたい、と考えていた。「論語か

る。漢詩かるたは、やがて佐賀県多久市から発売されそう。これはありがたい。それならもつと別のことをやった方がいい。ときどき街で外国人青年が漢字一字を大きく背中書いたTシャツを着ているのを見たことが、頭の片隅に残っていた。漢詩Tシャツを作ったらどうだろう。老若男女、誰でも気軽に着れる。自分は着なくても、子供のお土産になるだろう。2000円までの値段で作れたら、結構売れるのではないかとひらめいた。

全漢詩連は人材の宝庫である。かつて三菱レイヨンに務めていた三村公二さんに相談すると、すぐに昔の上司レナウンの元社長山田忠夫さん、関連会社ルックモードの糟谷尚人さんに連絡をとってくれた。4人そろうとTシャツの専門メーカー「トムス」を訪ねた。デザイナーは出版社時代の後輩で、今フリーのデザイナー花村広さんと相談した。3月23日の全漢詩連創立10周年記念大会に間に合わせたいと思い、T

シャツの胸には孟浩然の「春曉」——春眠不覚曉／宛々聞啼鳥／夜來風雨聲／花落知多少——を、石川忠久会長に毛筆で書いてもらう。背中には首の下に昔の中国の詩人の絵を小さく入れて、その下に「全日本漢詩連盟」と活字で入れたい。そんな相談をもちかけると、「白地のTシャツに、春曉の詩は胸いっぱい大きく墨くろくろぐると、そして落款の朱色がいいアイキャッチになります。白、黒、赤でとても目立つと思います。ぼくは漢詩は分かりませんが、漢詩のTシャツなんてとてもお洒落ですね。ぼくも買いたいくらいです」と、大いに励してくれた。

石川先生に頼んで早速、色紙に五言絶句「春曉」を書いていただいた。「岳堂」のサインの下に「石川忠久」の落款、おや、もうひとつ、右肩のところに朱色のハンコがおしてあるではないか。

「これは閑防印というもので、謝靈運の『始寧の墅に過ぎる』という五言古詩の中の句『白雲抱幽石』の『抱幽石』という字です。昔、私が大学の卒論を何にしようかといういろいろ迷って、結局、謝靈運を選んだことの名残りの印といえるかな」と石川先生。

雪の日の紅梅の花二つ、といった趣きで、これはよく目立つ。さらに、背中の絵について、私が「古い漢詩の本の中に出てくる昔の中国の詩人の顔か全身像を使ってみたいと思っております」というと、石川先生は「こんなのはどうですか」と、本棚から数冊の雑誌をとり出した。全国漢文教育学会の機関誌「新しい漢

字漢文教育」である。その表紙は、昔の中国の老人や子供が漢詩とともに、柔かく、しかも切れ味鋭く描かれていた。

「これは菊地真紀さんという切り絵作家の作品ですが、どうですかね」

トムスの担当者・竹中彰浩さんに「背中絵は小さくなるので、線が細いとボケてしまうので、輪郭などは少々太目の線をお願いします」と言われていた。この切り絵の線はその条件にぴったりだ。すぐに菊地さんに電話すると、二つ返事でOKとなった。

「何枚か詩人の全身像、顔を切り絵にしてみます。いいのをその中から選んで下さい」

やがて10枚の切り絵が送られてきた。みんな集まったところでどれを使うか検討し、結局全身像を使うことになった。花村さんとトムスの竹中さんと、襟元から何センチ下につけるかなどを具体的に相談してもらい、ついに11月30日に見本が出来上がった。送られてきた箱をあけて思わず「やったあ！これは売れる！」と確信した。布地もしっかりとした手ざわりのよい高級品だ。何回か洗濯してクタクタとなるような品物ではない。

価格2000円。できれば地区漢詩連盟でまとめて全漢詩連事務局に注文していただければ、メーカーから直送してもらえます。もちろん、個人でも申込みます。申込み用紙は本紙の表に。3月23日の漢詩大会で初売りをします。

(岡崎満義記)



背中には詩人像